

令和4年5月14日  
都立東大和南高等学校  
校長 川瀬 徹

第1回学校見学会あいさつ から

## 第一志望の高等学校への進学を心より応援しています

受検生の皆さん・保護者の皆様は何のために高等学校への進学を目指しておいでですか。中学校での三者面談やご家族でのご相談、あるいは信頼できるキャリアデザイン専門家のアドバイスを受けて、「進路第一志望」と申しますか、高等学校進学を通じて実現したい目標をしっかりと固めていらっしゃるでしょうか。本日のご見学が、皆様の「第一志望」を固めたり、決断した「第一志望」で間違いがないかを確認したりするのに必要な資料を提供できましたら、まことに幸いです。

すでに令和2年から高大接続改革（その要素の一つが大学入試改革）が始まっています。私たちには高等学校入学時からミスマッチをなくし、大学入試改革に対応する準備をすることが必要です。その基盤となるのが「学力の3要素」すなわち

- (1) 知識・技能
- (2) 思考力・判断力・表現力
- (3) 主体性をもって様々な人と協働して学ぶ態度

の3つです。高等学校は授業等を通じて3つの要素を伸ばす場所です。そして、誰にも予測できない未来の社会を生き抜くために「自分の人生で何を大事にしたいのか」「どのように生きていきたいのか」といった一人一人ちがう自分だけの価値基準を持てるように勉強する場所が高等学校なのです。いま、本校は高大接続により人生のコンパス（羅針盤・自分自身の価値基準・行動指針）をもった人間を育成しようとしております。

近年都立高等学校においては個性化・特色化が急速に進み、同じ全日制普通科であっても、そのおかれた地域や通って来る生徒の皆さん一人一人の希望や保護者の皆様の願いに応じて、教育活動の内容が大きく異なっております。見学することで本校の特色を正しく理解していただきたいと存じます。

以下、ご参考までに私の考える高等学校を正しく理解するための見学チェックポイントを示します。

### 【高校理解のための見学時チェックポイント3点】

- ① 高校の価値は自分たち親子（最後は受検生本人）のモノサシで測る（よい高校の定義は複数ある）。
- ② 受検生本人が入学後伸ばしたい力は何ですか。その力を確実に伸ばすことのできる高校ですか。
- ③ 入学試験結果には合格と不合格があります。第一志望高校に不合格の時に併願校へ進学する場合があります。併願校は大学進学時にリベンジ可能な高校であるかは重要なチェックポイントです。